

学校教育目標	○希望 ○創造 ○潤い	ビジョン	【目指す学校像】	○生徒が生き生きとして、自尊感情を高め、心を開ける学校○生徒・保護者・地域の願いに応え、ともに歩む学校○生徒・保護者・地域・教職員が安心でき、信頼し、躍進できる学校
			【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、自ら考える生徒 ○他を思いやり、支え合う生徒 ○責任をもち、やりぬく生徒
			【目指す教師像】	○生徒を第一に考え、生徒の良さを伸ばす教師○自己の資質向上と健康管理に努める教師○和、礼、法を重んじ、信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	確かな学力の定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を進める。	問題解決型福島中方式4ステップ授業から深まりのある指導を実践する。	毎時間の授業で、「つかむ・考える・広げる・深める」授業を定着する。	4 深まりにつながる4ステップ授業を行った	3	4 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が90%以上	4	4ステップ授業は定着し、90%の生徒が分かりやすいと感じている。まだ深める授業に工夫が必要である。	A	授業の流れは定着してきたので、振り返りの質を高めることで、理解の定着を図る。	
			3 「深める」ための指導の工夫を行った	3 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が80%~90%							
			2 「広げる」ための指導の工夫を行った	2 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が60%~80%							
		課題設定を工夫し、自主的に学習する習慣を定着させる。	1 個と集団を意識した授業を行った	3	1 授業が分かりやすいと感じる生徒が60%未満	4	4 考え、発表する時間があると感じる生徒が90%以上	4	90%の生徒が、考え、発表する時間があると感じている。話し合いや教え合い活動も取り入れている。	A	話し合いや教え合いの効果も、生徒が感じていることが素晴らしい。
			4 深く読み、表現する授業を毎時間展開した		4 考え、発表する時間があると感じる生徒が80%以上						
			3 深く読み、表現する授業を7割以上行った		3 考え、発表する時間があると感じる生徒が50%以上						
		課題設定を工夫し、自主的に学習する習慣を定着させる。	2 深く読み、表現する授業を5割程度行った	3	2 考え、発表する時間があると感じる生徒が50%未満	3	4 自主的な学習習慣が定着した生徒が90%以上	3	自習ノートは習慣化しているが、内容の充実で課題がある。自主学習の定着は学年によって差がある。	B	今の状況下だからこそ、自習について良い経験になっている。
			1 深い読みや表現する指導が不十分だった		3 自主的な学習習慣が定着した生徒が70%以上						
			4 ノート点検をし自主的な学習方法を指導できた		3 自主的な学習習慣が定着した生徒が50%以上						
豊かな心	自己有用感を高めることで自尊感情を育み、お互いを大切に尊重できる人間関係を構築する。	考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	中心発問を工夫することで22の内容項目を自分自身との関わりの中で深める。	4 生徒が考え、気付きのある発問を工夫した	3	4 1年間で自分を見つめる内容項目が3つ以上あった	3	発問の工夫はできたが、生徒はよく考えていた。より深める発問を工夫したい。	B	今年度は公開がなかったが、生徒がよく考える授業が行われていて良い。	
			3 計画通りに22の内容項目を全て扱った	3 1年間で自分を見つめる内容項目が2つあった							
			2 自分で教材理解をして年間35時間行った	2 1年間で自分を見つめる内容項目が1つあった							
		一人一人を尊重し、努力を認めて褒めることで自尊感情を育む。	1 指導書にしたがって道徳の授業を行った	3	1 1年間で自分を見つめる内容項目がなかった	3	4 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が90%以上	3	聞くこと、褒めることを行い、生徒との距離が近付いた。自己肯定感が低い生徒の対応を工夫したい。	B	*一人一人を尊重している雰囲気を感じる。 *生徒にしっかり向き合っている結果である。
			4 傾聴、共感、認定、助言、行動、賞賛を実践した		3 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が80%以上						
			3 傾聴、共感、認定から助言につなげた		2 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%以上						
		挨拶や返事がお互いに気持ちよくできる人間関係を築く。	2 傾聴、共感をし、認める努力をした	4	1 傾聴せずに、すぐ指導・説諭をする	4	4 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%未満	4	挨拶を自らする生徒が80%だが、もっとできるはず。学年や部活動によって偏りがある。	A	生徒は、学校内外問わず相手に届く声で挨拶を交わす学校にする。
			4 学校内外では教員自ら挨拶や声かけを行った		4 学校内外で、すんで挨拶できる生徒が80%						
			3 学校生活での挨拶・返事の指導を徹底した		3 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が80%以上						
健やかな体	自らの生活を健康的で健全にするために、体力向上を図り、規則正しい生活を送る。	1年間健康に過ごすための基礎体力・持久力の向上を図る。	体育活動で補強運動や主運動に時間をかけて、体力向上の取組姿勢を身に付ける。	4 一つ一つの運動の効果や取組方法を徹底指導した	3	4 運動を積極的に取り組む生徒が90%以上	2	体力向上の意識はさせられたが、今年の状況下では積極的に取り組む生徒が増えなかった。	C	*体育の授業では、専門性が高まる様子が見える。 *今年度は十分に運動できない状況だった。	
			3 体力向上のために個に応じた方法を指導した	3 運動を積極的に取り組む生徒が70%以上							
			2 体力向上の意義と取組方法を指導した	2 運動を積極的に取り組む生徒が50%以上							
		食事や睡眠を大事にし、自らの健康増進に努める生徒を育てる。	1 体力向上のための指導した	3	1 運動を積極的に取り組む生徒が50%未満	2	4 全校で1か月の平均残菜率が5%以下	2	食育指導は丁寧に行えたが、制限のある中でお代わりをする生徒が少なかった。残菜率は9%である。	C	今年度は仕方ない状況なので、次年度に期待する。
			4 学級で食の大切さと残さず食べる指導を徹底した		3 全校で1か月の平均残菜率が8%以下						
			3 学級で食の大切さと残さず食べる指導をした		2 全校で1か月の平均残菜率が10%以下						
		SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	2 学級で残さず食べる指導に取り組んだ	3	1 学級で食育指導を定期的に行なった	3	1 全校で1か月の平均残菜率が10%前後	3	67%の生徒が学校ルール等を守っているが、まだ40%の家庭でルールが作られてない。	B	*学校は日頃よりよく取り組んでいる。 *家庭協力が必要である。
			4 SNSルールを徹底を家庭に指導した		4 SNSルールが定着した生徒が80%以上						
			3 SNSルールを学級で指導・徹底した		3 SNSルールが定着した生徒が50%以上						
輝く未来	家庭・地域との連携を深めて、将来の確かな夢をもち、夢を語るような人格形成を図る。	家庭・地域との信頼関係を深めるために情報発信を行い、意見を求める。	学校・学年だよりの発行とホームページの更新を毎月行う。	4 毎月発行・更新し、地域からの意見を募った	3	4 学校の教育活動に安心している保護者が90%以上	3	81%の家庭が本校の教育活動に安心している。各種おたよりも毎月1回以上発行できた。	B	家庭でのコミュニケーションがよく取れている。	
			3 学校・学年だよりとHP更新は毎月1回以上行った	3 学校の教育活動に安心している保護者が80%以上							
			2 学校・学年だよりは毎月1回以上発行した	2 学校の教育活動に安心している保護者が60%以上							
		キャリア教育によって夢をもち、実現に向け努力する生徒を育成する。	1 学校だよりは毎月1回以上発行した	3	1 学校の教育活動に安心している保護者が60%未満	3	4 夢に向けてキャリアプランを作った生徒が50%以上	3	自分の将来について82%の生徒が真剣に考えている。学年の成長に合わせた指導もできている。	B	行事も十分に行えない中ではあうが、自身を付けさせる指導が大切である。
			4 よりよく生きるための進路学習を計画的に行なった		3 将来の夢を真剣に考える生徒が70%以上						
			3 職業学習の充実で働くことの意義を考えさせた		2 将来の夢に向けて進路学習を行った						
		9年間を見通した計画的な指導を行い、地域との関わりを深めていく。	2 職業選択につながる進路指導を行った	2	1 社会で自立するための職業観をもたせた	2	4 スタンドを周知・徹底し、小学校との実践を深めた	2	校内における実践はできているが、小中での連携はできなかった。	C	今年度は3校が集まる会議ができないので、次年度に期待する。
			4 スタンドを周知・徹底し、小学校との実践を深めた		3 スタンドを生徒・家庭が実践した						
			3 スタンドを全クラスで指導・徹底した		2 スタンドを生徒・家庭が理解した						
			福島中グループの小中一貫教育スタンダードを徹底する。	2 スタンドの意義を理解させ、家庭協力を求めた	2	4 スタンドを地域が協力・推進した	2				
				1 スタンドを意義を生徒に理解させた		1 スタンドが家庭に周知された					